

自記式 + インターネット + 衛星モニタリング

水中騒音振動計 SG-502

水中騒音振動計(SG-502)は、海洋工事現場(削孔、打設など)付近の水中騒音と、海底の振動を測定し、内蔵のSDカードに収録します。また、港湾や外洋での水中音響環境の測定にも適しています。

処理機能を追加したモニタリングシステムでは、測定データを洋上ブイのインターネット通信制御装置(SM-501 別売)で、ドコモのFOMA網と、インターネットを介して、データをリアルタイムでサーバーに送信します。

サーバーの水中騒音振動処理ソフト(MagicProcessorK4.4sg RA-667 別売)は、測定データのピーク、平均、偏差などを、表やグラフにします。処理結果は、直ちにアップロードされ、インターネットを介して、現場にフィードバックされます。処理結果は、定時間隔(例えば5分間隔)で更新できます。

加えて、衛星通信制御装置(SM-501s 別売)の利用により、地球全体をカバーするより広範囲でのモニタリングシステムも実現できます。



吊下フレーム、水中コネクタはオプションです

特長

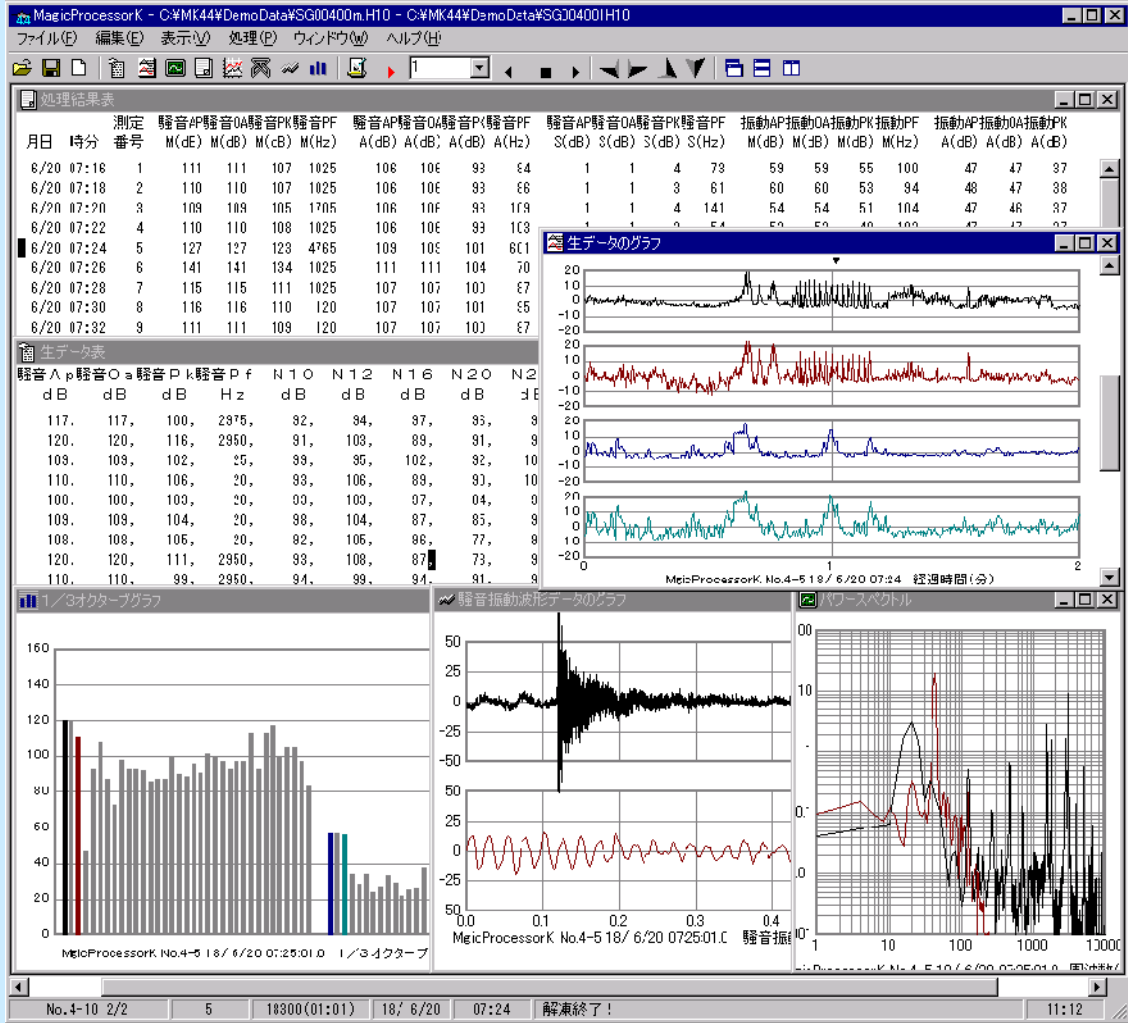
- * 単一乾電池2個で、30日間以上、連続観測できます
- * サンプリング周波数20.48KHzの騒音波形データで、騒音の1/3オクターブ解析ができます⁽²⁾
- * FOMAサービスエリア(Docomo)なら、どこからでもアクセスでき、リアルタイム性はバツグンです⁽¹⁾
- * SDカードに収録されたデータファイルは、そのままWindowsでコピーでき、取扱いが簡単です
- * パソコンとケーブル接続して、手軽に水中の騒音と振動を、モニタリングすることも可能です⁽²⁾

(1) Webワッチサービスが必要です。(2) オプションです。

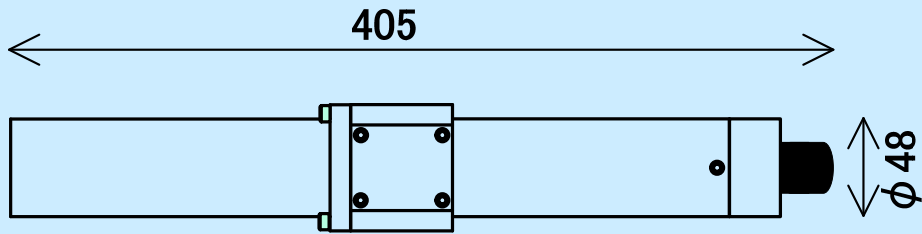
ダイナミックな海をつたえます **有限会社 アイオーテクニク** 海洋計測機器・設計・製造・販売

〒226-0027 神奈川県横浜市緑区長津田 6-21-13 TEL(045)532-5114 FAX(045)532-5115 www.iotechnic.co.jp 2019/04

騒音振動処理ソフト(RA-667 別売)による処理例



外觀図



水中騒音振動計の構成と仕様

構成名称	型式	仕様概要	
水中騒音振動計	SG-502	騒音周波数帯域: 10Hz~10KHz 騒音サンプリング周波数: 20.48KHz 騒音測定範囲: 100~160dB 記録媒体: SDカード(MAX128GB)、外形寸法48φ×405L、重量1.2kg、使用水深: 50m、材質: ジュラコン	振動周波数帯域: 1~100Hz 振動サンプリング周波数: 512Hz 振動測定範囲: 45~120dB
データ通信機能(別売)	SG-001	モニタリングシステム構成時のデータ回収機能。	
処理機能(別売)	SG-005	SG-502の装置内で1/3オクターブを算出します。モニタリングシステム構成時に必要です。	
インターネット通信・制御装置 KOBANZAME14	SM-501 (別売)	FOMAサービスエリアで利用できます。TCP/IP、PPPなどのプロトコルを実装しており、直接、インターネットと通信できます。外形寸法: 275L×90φ、重量: 1.2kg、材質: ジュラコン	
衛星通信・制御装置 KOBANZAME-S	SM-501s (別売)	通信モジュール: 9602(IRIDIUM社製I) 通信遅延: 1分以内 外形寸法: 275L×90φ、重量: 1.2kg、材質: ジュラコン	
水中騒音振動処理ソフト MagicProcessorK4.4sg	RA-667 (別売)	騒音、振動の1/3オクターブの計算や、処理結果の表やグラフを作成し、インターネットにアップロードできます	
水中騒音振動モニタリングソフト PilotSg	RA-668 (別売)	SG-502とPCとケーブル接続して使用します。リアルタイムモニタリング測定用	
洋上パイ(別売)	BY-101	専用の組立式小型パイ3800H、フート570L×345φ、重量20kg	
海中ケーブル(別売)	BY-402	KOBANZAME14と水中騒音振動計を接続する海中ケーブル。両端水中コネクタ付	
吊下げフレーム(別売)	FM-502	吊下げ設置用 重量: 1.2kg、材質: SUS304	
アルカリバッテリーケース(別売)	AB-114	1.5V 単1型アルカリ乾電池 2個(14AH標準)	
リチウムバッテリーパック(別売)	LB-403sg	3.6V 30AH SG-502専用仕様 ※HJシリーズのバッテリーとはコネクタ形状が異なります。	